

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

複数施設研究用

レセプトデータを用いた進行大腸がん特定のためのバリデーション研究

### 1. 研究の対象

2017年1月から2017年12月までの期間に、大阪国際がんセンターを受診した患者

### 2. 研究目的・方法

総研究期間：研究許可日～2024年3月31日

本研究では、「レセプトデータを利用した進行大腸がんに対する大腸内視鏡検査の予防効果」の検証に先立ち、進行大腸がん患者を日本のレセプトデータ上で特定することを目的としたバリデーション研究を行うことを目的としています。レセプトデータから「進行大腸がん」を数種類定義し、院内がん登録情報およびカルテ情報をゴールドスタンダードとしたバリデーション研究を行い、各定義が「進行大腸がん」を示せるかの妥当性を比較・検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：がん登録データ 医科レセプトデータ（診療録番号、年齢、性別等）等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

国立がん研究センター中央病院 松田尚久（研究代表者）

大阪国際がんセンター 消化管内科 竹内洋司（研究責任者）

京都府立医科大学 分子標的癌予防医学 石川 秀樹

大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座環境医学 祖父江 友孝

東京理科大学薬学部 臨床薬剤情報学研究室 真野 泰成

京都府立医科大学大学院 消化器内科 吉田 直久

医療法人薫風会 佐野病院 佐野 寧

大阪医科大学 研究支援センター医療統計室 伊藤 ゆり 福井 敬祐

札幌医科大学 数学・情報科学講座 加茂 憲一

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化管内科 竹内 洋司 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上